

クローザ類／①ドアクローザ

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章8節に規定する建具用金物のうちのドアクローザとする。

2. 品質・性能等

- （1）品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- （2）主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- （3）性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 名簿の「詳細事項」に関する注意事項

- （1）材料の閉じ力による区分、取り付け方法及びストップ装置の有無による区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- （2）「取り付け方法及びストップ装置の有無による区分」は、該当する製品名を示している。

クローザ類／①ドアクローザ

評価内容（別紙）

項 目		品 質 ・ 性 能				備 考																																											
材 料	見え掛り部の材質	本 体	アルミニウム合金製																																														
		アーム部	鋼製（焼付け塗装）																																														
性 能 値	初 期 値	閉じ力および効率による区分		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">Grade</th> <th style="text-align: center;">番手</th> <th style="text-align: center;">閉じモーメント (N・m)</th> <th style="text-align: center;">効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">Grade1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9 以上</td> <td style="text-align: center;">45 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">13 以上</td> <td style="text-align: center;">50 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">18 以上</td> <td style="text-align: center;">55 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">26 以上</td> <td style="text-align: center;">60 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">37 以上</td> <td style="text-align: center;">60 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">54 以上</td> <td style="text-align: center;">65 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">Grade2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5 以上</td> <td style="text-align: center;">30 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">10 以上</td> <td style="text-align: center;">30 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">15 以上</td> <td style="text-align: center;">35 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">25 以上</td> <td style="text-align: center;">40 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">35 以上</td> <td style="text-align: center;">45 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">45 以上</td> <td style="text-align: center;">45 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注1) パラレル取付けは、上記の閉じモーメントの70%程度までとする。 2) コンシールド型は、上記の閉じモーメントの50%程度までとする。</p>			Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	Grade1	1	9 以上	45 以上	2	13 以上	50 以上	3	18 以上	55 以上	4	26 以上	60 以上	5	37 以上	60 以上	6	54 以上	65 以上	Grade2	1	5 以上	30 以上	2	10 以上	30 以上	3	15 以上	35 以上	4	25 以上	40 以上	5	35 以上	45 以上	6	45 以上	45 以上	
		Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)																																												
		Grade1	1	9 以上	45 以上																																												
			2	13 以上	50 以上																																												
			3	18 以上	55 以上																																												
			4	26 以上	60 以上																																												
5	37 以上		60 以上																																														
6	54 以上		65 以上																																														
Grade2	1	5 以上	30 以上																																														
	2	10 以上	30 以上																																														
	3	15 以上	35 以上																																														
	4	25 以上	40 以上																																														
	5	35 以上	45 以上																																														
	6	45 以上	45 以上																																														
閉 じ 速 度 (秒)	常温 (5～35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5～8 秒に調整できること。																																																
温 度 依 存 性 (緩衝油の流動点) (℃)	-15 以下																																																
ス ト ッ プ 力 (N・m) (機能を有する機種のみ)	入 力：60 以下 (ただし、コンシールド型は 200N・m 以下) 解除力：8 以上																																																
バックチェック機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	ドア開扉方向に荷重 60N/m ² を、開扉 50° から負荷すること。 バックチェック開始角度 (70～85°) から、さらに 20° まで開く間の時間は、0.8 秒以上とすること。																																																
ディレードアクション機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	開扉 90° の位置からディレードアクション解除角度までの時間が 10 秒以上確保できること。また、その時間の調整が可能であること。 ディレードアクション解除角度 (60～75°)																																																

クローザ類／①ドアクローザ

項 目		品 質 ・ 性 能	備 考
性能 (続き)	耐久性	繰返し開閉後の 閉じモーメント (N・m) (Grade1・Grade2とも)	耐久試験後も、初期値の性能を満足すること。
		繰返し開閉後の 効 率 (%) (Grade1・Grade2とも)	同 上
		繰返し開閉後の 閉 じ 速 度 (秒)	同 上
		繰返し開閉後の バックチェック機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	同 上
		繰返し開閉後の ディレードアクション機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	同 上
外観および機能	製 品 お よ び 付 属 品 の 形 状		全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。
	機 能	ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。	
	ス ト ッ プ 装 置 の 機 能	ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。	
	取 付 け 部 品	必要な取付け部品が付属していること。	
試験方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3の「5.試験の一般条件」、「6.1試験の概要」および「6.2試験装置」による。 2. 閉じ速度試験、ストップ力試験、バックチェック機能試験およびディレードアクション機能試験は、JIS A 1510-3の「6.3.2 ドアクローザの開閉試験」による。 3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269による。 4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3の「6.3.2 ドアクローザの開閉試験」による。なお、繰返し開閉回数は、Grade1は50万回、Grade2は20万回とする。 5. 試験体は、申請品のうち、パラレル型（汎用品）とし、当協会と協議のうえ選定する。 6. バックチェック機能およびディレードアクション機能は、別途の試験体で各々の試験を行う。 7. 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。 		